

須賀川商工会議所 「巡回訪問聞き取り調査」結果

当所では、令和 6 年度から四半期ごとに、巡回訪問時に会員企業（中小企業、小規模事業者）の皆様の景況感や経営上の課題などの聞き取り調査を実施しており、それら調査結果を商工会議所の事業運営や行政への要望・提言活動などの参考としています。

今回、令和 8 年 4 月～6 月までの 3 ヶ月間の聞き取り調査結果を取りまとめたことから、その概要についてお知らせします。

令和 8 年度第 1 四半期 調査結果概要

売上の増加傾向が弱まり、採算は横ばいながら先行きに慎重さも 中東情勢、原油価格上昇の影響も顕著に

今回の調査では、（前年同期比）売上高について「増加」と回答した割合が減少し、「不変」「減少」と回答した割合が増加していることから、全体として需要の勢いが弱まっている状況にあると考えられます。

一方、（前年同期比）採算については「好転」「悪化」と回答した割合が減少し、「不変」と回答した割合が増加していることから、利益面では横ばいの傾向が強まっていると考えられます。

また、採算の向こう 3 ヶ月見通しについて尋ねたところ、「好転」と回答した割合が減少し、「悪化」と回答した割合が増加、「不変」と回答した割合は微増という結果となりました。コスト上昇等に伴う先行きに対する懸念や、売上の伸びに対する慎重な姿勢が伺えます。

経営上の課題としては、「物価高騰（材料費高騰）」が経営課題の上位を占め、物価高騰の影響が今回も顕著となりました。

また、中東情勢、原油価格上昇の影響について尋ねたところ、回答事業所の 78.5%が「ある」と答え、世界経済情勢が企業活動に与える影響がみてとれる結果となりました。

1. 今期の調査について

■調査期間 2026 年 4 月 1 日～6 月 30 日

■調査企業数 75 社（前期 114 社）

＜業種と内訳＞

業 種	数	%
サービス業	26	34.7
建設業	21	28.0
小売業	16	21.3
製造業	12	16.0
合 計	75	100.0

2. 調査の結果概要

(1)令和 8 年 4 月から 6 月までの 3 ヶ月間の売上、採算の状況

※本調査において構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しており、合計値は必ずしも 100.0 とはなりません。

■売上高

項目	今 回 (令和 8 年 4-6 月)	前年同期 (令和 7 年 4-6 月)	比較
増加	26.4 %	36.2 %	↘
不変	36.1 %	31.0 %	↗
減少	37.5 %	32.8 %	↗
合計	100.0 %	100.0 %	

※ 矢印は前年同期との比較

■採算

項目	今 回 (令和 8 年 4-6 月)	前年同期 (令和 7 年 4-6 月)	比較
好転	5.6 %	12.1 %	↘
不変	59.7 %	43.1 %	↗
悪化	34.7 %	44.8 %	↘
合計	100.0 %	100.0 %	

※ 矢印は前年同期との比較

(2)中東情勢、原油価格上昇の影響

項目	今 回 (令和 8 年 4-6 月)
ある	78.5 %
ない	21.5 %

※ 詳細は別紙参照

(3)経営上の課題(上位 4 位) ※複数回答

期間		項目	%	比較
今回	令和 8 年 4 月～6 月	物価高騰(材料費高騰)	72.3	↘
		売上・収益性確保・向上(販路拡大)	59.6	↗
		賃上げ	36.2	—
		人手不足・人材採用	31.9	↗
前年同期	令和 7 年 4 月～6 月	物価高騰(材料費高騰)	82.6	
		売上・収益性確保・向上(販路拡大)	30.4	
		人材採用・人材育成	17.4	
		デジタル技術導入、事業承継	8.7	

※ %は項目ごとにおいて経営上の課題として指摘した事業所数の割合

※ 矢印は前年同期との比較